

胆振東部地震に係る災害復旧の現在の 状況について



北海道開発局ホームページへはこちらから。



地震の概況

北海道胆振東部地震への対応について

(1) 発生日時

平成30年9月6日 03:07

(2) 震源地等（暫定値）

震源地 胆振地方中東部

規模 マグニチュード6.7、深さ 37km

震度 震度7 厚真町

震度6強 安平町、むかわ町

震度6弱 札幌市東区、千歳市、日高町、平取町

(3) 被害の概要

（令和元年9月5日現在、北海道庁資料）

人的被害 死者：44人（うち、災害関連死3人）

重軽傷者：785人（うち、重傷者51人）

建物被害(住家) 全壊：479戸、半壊：1,736戸、

一部損壊：22,741戸

(1) 国等が管理する施設

緊急対応

【河川】鵡川水系鵡川の国管理区間において堤防の縦・横断亀裂が発生。

・13日までに緊急復旧工事を完了。

【道路】地震発生直後、日高自動車道(L=56.3km)を全面通行止め。

・緊急点検を実施、6日18時には緊急車両の通行を確保。

・9日までに応急復旧工事が完了し、全面通行止めを解除。

【港湾】苫小牧港においてコンテナターミナルの液状化による被害が発生。その他の港湾では停電に伴い荷役機械が停止。

・苫小牧港では平成30年9月9日に仮復旧を完了し翌日10日より荷役作業開始。その他の港湾では停電解消後、順次再稼働。

【農業】山腹崩壊により厚真ダムの余水吐に倒木や土砂が流入。

・自衛隊の協力も得て、29日までに倒木や土砂の除去を完了。

(2) 被災地支援

○ 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)や水土里災害派遣隊等を派遣し、被害情報の把握、復旧工事推進のための技術的支援を展開。

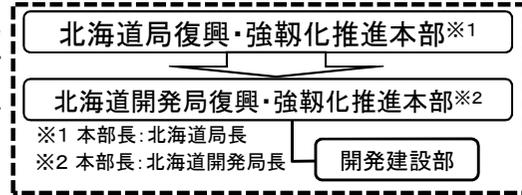
・TEC-FORCE等：延べ3,064人日（H30.9.6～10.15）

・水土里災害派遣隊：延べ2,722人日（H30.9.6～H31.3.25）

○ 開発局では、北海道管理の厚真川への流入土砂の撤去、主な道道や町道における救急車や警察・自衛隊などの緊急車両の通行のため倒木処理や段差解消などの道路啓開や、被災3町(安平町、むかわ町、厚真町)が管理する24箇所の橋梁の緊急点検等の支援を実施。

本格復旧の推進

○ 平成30年10月5日に北海道局の下に「北海道開発局復興・強靱化本部」を設置。北海道や被災市町村と緊密に連携し、被災地の本格的な復旧・復興と全道の強靱化を推進。



○ 被災3町・国・北海道の現地

連絡調整会議を設置し(平成30年11月9日)、復旧・復興に向けた連絡意見交換等を実施。【第1回：H30.11.9～第6回：R1.6.7】

○ また、土砂調整会議を設置し(H30.12.6)、各機関の復旧工事で発生する土砂の処分や有効活用を推進(建設発生土砂の有効利用等の方針を決定)。【第1回：H30.12.6、第2回：H31.3.31】

復興支援

○ 北海道開発局では、北海道の「食」と「観光」の復興支援のため、次の取組等を実施。

・北海道産農水産物の更なる輸出促進のため、台湾での「北海道東胆振地域復興支援フェア」の開催(H31.2.2～2.4)

・多様な機関との連携により、大部分の地域では観光客の受入に支障がないことや北海道の魅力と観光情報等を発信

○ 今年9月、地震発生から1年を迎えるに当たり、今般の災害を記憶にとどめ、被災地の復旧・復興を更に支援するため、パネル展や現地記者説明会を実施。

- 胆振東部地震による北海道開発局が所管する施設の被害額は①農業(国営かんがい排水事業):勇払東部地区、新鷲川地区、早来地区、道央用水地区～約485億円②河川:鷲川、沙流川、茨戸川、石狩放水路～約13億円③道路:E 63 日高自動車道～約8億円④港湾:苫小牧港東港区、西港区～約22億円
- この他、北海道知事の要請を踏まえ、「直轄砂防災害関連緊急事業」を厚真川水系日高幌内川、チケツペ川、東和川で実施～約42億円

国営かんがい排水事業 [約485億円]
勇払東部地区、新鷲川地区、早来地区、道央用水地区
 ・厚幌導水路(管水路φ2000mm)の破損等【詳細、後述】



農業



直轄砂防災害関連緊急事業

厚真川水系日高幌内川、東和川、チケツペ川 [約42億円]
 ・河道閉塞の対策等【詳細、後述】



砂防

苫小牧港東港区、西港区 [約22億円]
 ・被災状況:物揚場本体工の海側へはらみだし等
 ・対応状況:令和2年3月までに完成予定



港湾

鷲川、沙流川、茨戸川、石狩放水路 [約13億円]
 ・被災状況:堤防縦・横断亀裂等
 ・対応状況:令和元年7月30日までに復旧完了



河川

E 63 日高自動車道 [約8億円]
 ・被災状況:路面段差等
 ・対応状況:平成31年3月24日までに復旧完了



道路

段差30cm

農業事業



北海道開発局ホームページへはこちらから。



■特に被害の大きかった勇払東部地区では、用水受益地2,843haのうち、約97%にあたる2,747ha暫定的な用水を確保したことなどにより、水稻をはじめとする農作物の収穫は終了。
厚真ダムの仮排水機能確保工事や堤体周辺法面の復旧工事、厚幌導水路の復旧工事を実施中。

地区名	勇払東部地区
関係市町村	勇払郡 厚真町
予定工期	2023年度完了予定
被災状況	厚真ダム：洪水吐、取水放流施設の損傷、堤体周辺法面の崩壊など 頭首工：2箇所（コンクリートの亀裂など） 揚水機：1箇所（コンクリートの亀裂など） 用水路：L=18.2km（用水路の破損・離脱など）
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 暫定的な用水確保のための仮設工事 2019年4月に完了 厚真ダムの復旧状況 仮排水機能確保工事（仮排水トンネル閉塞部の開口）、堤体周辺法面復旧工事を実施中 用水路の復旧状況 パイプラインの離脱により農地が被災している区間を優先して復旧工事を実施中（R元年度復旧延長は4.6km）
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 厚真ダムの復旧 2020年度から洪水吐、取水放流施設等の復旧工事を実施予定、2022年度に復旧工事完了予定、2023年度試験湛水実施予定 用水施設の復旧 2020年度以降、残りの用水施設の復旧工事を順次実施予定



■早来地区では、損傷した瑞穂ダム堤頂部の復旧工事、貯水池内に流入した土砂や倒木の撤去工事を実施中。
 ■新鷲川地区、道央用水地区では、用排水路や夕張スーパーダム貯水池内法面復旧工事などを実施中。

地区名	早来地区	新鷲川地区	道央用水地区
関係市町村	勇払郡 安平町	勇払郡 むかわ町	夕張市
予定工期	2020年度完了予定	2019年度完了予定	2019年度完了予定
被災状況	瑞穂ダム（堤頂部の損傷、貯水池内土砂・倒木の流入）	用水路：L=9.6km（隣接斜面崩壊による土砂の流入、護岸損傷など） 排水路：L=0.1km（護岸損傷など）	夕張スーパーダム（ダム貯水池法面崩壊、管理用道路のクラック）
対応状況	・ 損傷した堤頂部の復旧及び貯水池内の土砂及び倒木の撤去工事を実施中	・ 用排水路の本復旧工事を実施中	・ 貯水池法面及び管理用道路の本復旧工事を実施中
今後の見通し	・ 2020年度は、貯水池内の土砂及び倒木の撤去工事を実施して、全ての復旧工事を完了予定	・ 今年度内に復旧工事を完了予定	・ 今年度内に復旧工事を完了予定

【早来地区】



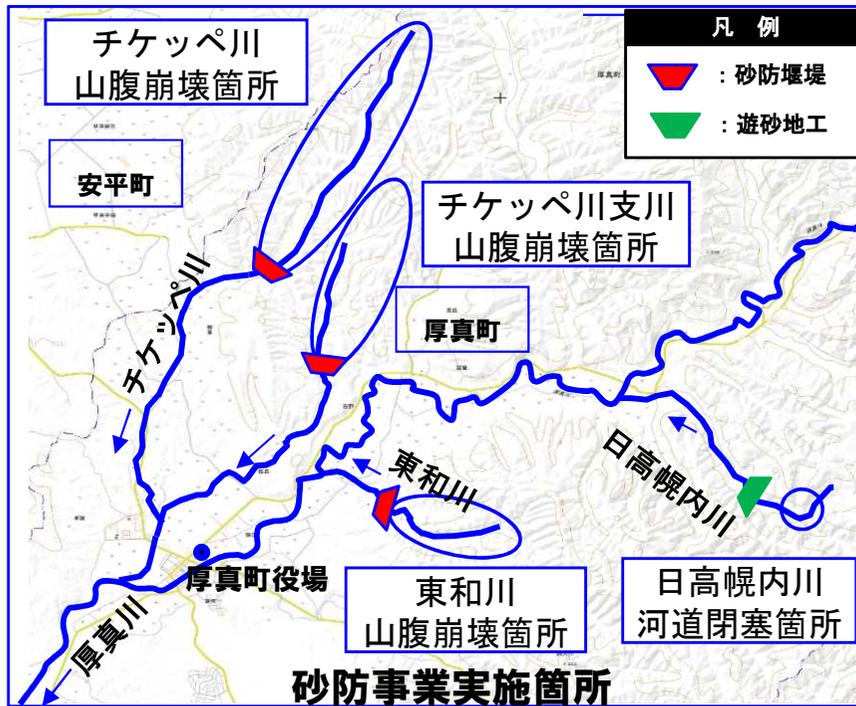
砂防事業



北海道開発局ホームページへはこちらから。



- 平成30年北海道胆振東部地震では、厚真川流域を中心に多数の山腹崩壊が発生。
- 日高幌内川では、大規模な河道閉塞が発生。チケッペ川、東和川においても大規模な山腹崩壊が発生し、河道内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害発生のおそれ。こうした状況を踏まえ、北海道知事からの要請を受け、日高幌内川、チケッペ川、東和川において直轄砂防工事を実施。



チケッペ川の山腹崩壊状況

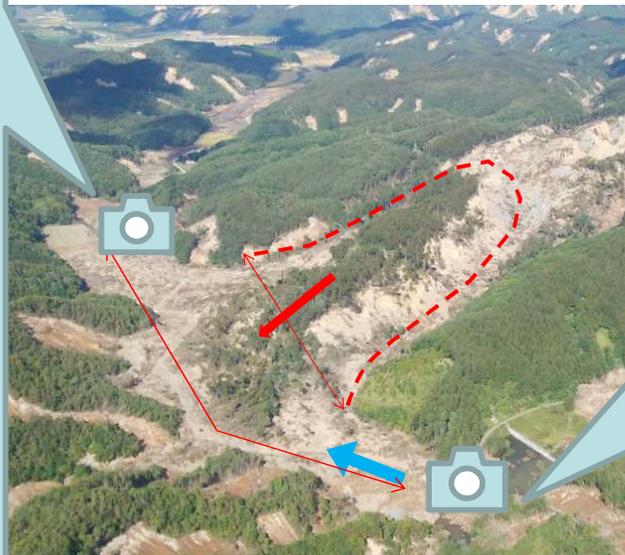


チケッペ川支川の山腹崩壊状況



東和川の山腹崩壊状況

- 日高幌内川の大規模な河道閉塞の対策については、工事用道路造成を平成30年10月末迄に完了し、倒木処理等を11月末迄に完了。11月中旬より水路工整備のための掘削工に着手し、24時間体制で工事を実施。平成31年3月26日に融雪水を安全に流すための水路工が完成。
- 来年度からの本格的な工事実施に向けて、台風などの大雨に対応するための恒久的な対策方法を検討中。



- チケツペ川・東和川の3基の緊急的な砂防堰堤については、堰堤建設のための掘削工に平成31年1月中旬に着手し、チケツペ川支川の1基が5月に完成。他2基の堰堤が7月末に完成。
- 来年度からの本格的な工事実施に向けて、台風などの大雨に対応するための恒久的な対策方法を検討中。

チケツペ川の緊急的な対策状況



チケツペ川支川の緊急的な対策状況



東和川の緊急的な対策状況

